

小学六年

適性検査 D

解答と解説

1

問題4	問題2	問題1
ア	エ	イ
問題3		
A イ		
B 862,731 (kg)		
問題7		
C 1回ずつの利用 月額会員 1日パス		
D 4,290 円		

(完答)

問題5 (例)
電車やバスなどの公共交通機関で駅まで移動した後、シェアサイクルに乗り換えて、目的地まで移動する利用者が多いから。

問題6 (例)
自転車の位置情報によって、決められたポートに正しく返却されたかを確認したり、特定のポートに自転車が集中するのを防いだりするため。

2

問題二	問題一	問題8 (例)									
つ	ウ	っ	り	ま	す	に	え	ポ			
な		て	多	た	れ	あ	ら	ー	資		
が		も	く	、	ば	る	れ	ト	料		
り		ら	の	広	、	駐	る	の	8		
の		え	人	く	新	輪	。	位	よ		
回		る	に	知	た	場	そ	置	り		
路		と	シ	ら	に	の	こ	が	、		
を		思	エ	れ	場	一	で	わ	近		
閉		う	ア	て	所	部	、	か	く		
ざ		。	サ	い	を	を	駅	り	に		
し	150	イ	る	確	利	、	づ	ポ			
て	イ・オ	ク	場	保	用	商	ら	ー			
し		ル	所	す	し	業	い	ト			
ま		が	で	る	て	施	こ	が			
う		認	あ	必	ポ	設	と	な			
15		知	る	要	ー	や	が	い			
		さ	た	が	ト	公	課	こ			
		れ	め	な	を	共	題	と			
		、	、	い	設	施	と	や			
		使	よ	。	置	設	考	、			
		140	100	60	20						

(15分)

問題五																	(例)
人	の	ぞ	や	に		を	ま	く	が		関	と	な	大	の	場	
に	思	れ	り	気	相	伝	ち	こ	悪	他	係	努	感	切	は	合	筆
な	い	ー	と	を	手	え	が	と	く	者	を	め	情	に	ふ	に	者
り	を	と	は	つ	の	る	っ	も	な	と	築	、	を	し	つ	相	は
た	整	い	言	か	明	よ	て	で	る	意	く	な	抱	な	う	手	、
い	理	う	え	っ	ら	う	い	き	の	見	こ	に	き	い	の	の	自
で	し	楽	な	て	か	に	る	る	を	が	と	か	つ	こ	こ	考	分
す	て	な	い	だ	な	心	な	と	お	異	が	を	つ	と	と	え	と
。	き	方	と	ま	ま	が	ら	思	そ	な	大	と	も	に	で	や	意
350	ち	法	思	っ	ち	け	、	い	れ	っ	切	も	、	は	あ	あ	見
	ん	に	う	て	が	た	私	ま	て	た	だ	に	そ	な	り	り	が
	と	逃	か	い	い	い	は	す	、	場	と	や	の	ら	、	方	異
	伝	げ	ら	る	に	で	自	。	何	合	述	っ	考	な	否	を	な
	え	こ	で	の	気	す	分	し	も	、	べ	て	え	い	定	好	る
	ら	ま	す	は	づ	。	が	か	言	相	て	い	を	の	し	き	人
	れ	ず	。	本	い		思	し	わ	手	い	け	理	で	て	に	と
	る	に	ー	当	て		っ	、	な	と	ま	る	解	、	も	な	っ
	よ	、	人	の	い		た	相	い	の	す	よ	し	否	相	れ	き
	う	自	そ	思	る		こ	手	で	関		う	う	定	手	な	合
な	分	れ	い	の		と	が	お	係		な	う	的	を	い	う	
300																	20

(配点)

① 問題1～問題5……各4点 問題6、問題7……各6点 問題8……10点

② 問題一、問題二……各3点 問題三、問題四……各4点 問題五……40点

計100点

ただし、①問7、②問4は完答

【解説】

① シェアサイクルをテーマにした問題

問題 1 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 関係づけ

資料1のグラフから数値を正確に読み取り、選択肢の正誤を判断する問題です。

ア 社会実験の都市数は、2015年(18)から2016年(13)、2019年(54)から2020年(46)にかけて減少しているため、誤りです。

イ 2014年の本格実施は75都市です。その3倍は75×3=225となり、2021年の本格実施(269都市)はこれを超えています。したがって、正しい内容です。

ウ 2018年のシェアサイクル実施都市の合計数(186都市)の2倍は372となり、2021年の合計(324都市)は2倍に達していないため、誤りです。

エ グラフを見ると、常に「本格実施」の方が「社会実験」より多いため、誤りです。

問題 2 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 関係づけ

資料2のアンケート結果から、地域活性化に関する効果を正しく説明しているものを選びます。

ア 交通手段の「選択肢が増えた」と答えた人は91%ですが、「一つにしばられた」わけではありません。よって、誤りです。

イ 所要時間が「短くなった」と答えた人が85%であり、「長くなった」わけではありません。よって、誤りです。

ウ 行動範囲が「広がった」と答えたのは85%(8割以上)ですが、「立ち寄る店・目的地が増えた」のは54%(約5割)

であるため、誤りです。

エ 立ち寄る店、目的地が増えたと答えた人が54%(半数以上)おり、それによって地域内での人の動きが活発になるという説明は、資料2で示されているアンケートの回答傾向と一致すると考えられます。よって、正しい内容です。

問題 3 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 調べる

資料3にある式と数値を用いて、令和2年度のシェアサイクルの総移動距離、令和3年度のCO₂削減量を求める問題です。会話文と資料3より、「シェアサイクルの総移動距離(km)×自動車CO₂排出原単位」で求めることができる点に着目します。

A

資料3より、令和2年度のCO₂削減量は810.614kg、自動車CO₂排出原単位は133gです。このとき、単位をgにそろえる点に注意します。 $A \times 133 = 810.614 \times 1,000$ と表せるので、 $A = 810.614 \times 1,000 \div 133$ です。選択肢の値を見ると、すべて千の位だけ異なっています。途中まで計算して、選択肢の値を確認するとよいでしょう。 $810.614 \times 1,000 \div 133 = 6094 \dots$ となるので、正しい答えは千の位が4となるイです。

B

同じく資料3より、令和3年度のシェアサイクルの総移動距離は6,486,701km、自動車CO₂排出原単位は133gです。 A と同じく、単位をgにそろえる点に注意します。 $6,486,701 \times 133 \div 1,000 = 862,731.233$ より、小数第一位を四捨五入すると862,731となります。

問題 4

B 1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 関係つけ

資料 4 の事例から、シェアサイクルが災害時に役立つ理由を判断します。

広島県の事例（避難者の移動手段）や東京都の事例（鉄道運休時の代替手段）から、燃料不要で動ける自転車、公共交通機関が停止した際の移動を助ける役割を果たしていることが読み取れます。

ア 広島県でも東京都でも、シェアサイクルが避難者や帰宅困難者の代替手段として利用されたとわかるので、正しいです。

イ 東京都の例では、無料とは示されていないので、誤りです。

ウ 災害現場の空気をきれいに保つことは、シェアサイクルが災害時に役に立つ理由としては無関係なので、誤りです。

エ シェアサイクルの数には限りがあり、避難者や帰宅困難者全員が危険な場から確実に避難できるわけではないので、誤りです。

問題 5

B 1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 関係つけ

資料 5 より、岡山市中心部には、観光地や公共施設などがあることがわかります。これらの施設へ移動する場合、岡山駅などの鉄道駅まで電車やバスで移動した人は、そこから先へ移動する手段が必要になります。そのため岡山駅などの主要駅周辺にポートが密集していれば、鉄道を降りたあとの目的地までの移動（二次交通）がスムーズになります。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について（2点）

次のような視点で採点します。誤り 1 か所につき、1 点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

説明が書かれていない場合は 0 点となります。

・ 鉄道駅の周辺に多くのポートが設置されている理由について書かれているか

・ 内容に過不足がないか

・ 文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について（2点）

内容に関する観点が 0 点でない場合、次のような視点で採点します。誤り 1 か所につき、1 点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・ 誤字や脱字がないか

・ 文法的な誤りがないか

・ 語句や言葉の使い方に誤りがないか

・ 常体、敬体の混在がないか

・ 不適切な話し言葉の使用がないか

・ 消し残りなどで字が見づらくないか

問題 6

B 2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 関係つけ

GPS によって、自転車がどこにあるかを知ることができるだけでなく、利用者が決められたポートに自転車を正しく返却したかを判断することができます。もしポート以外の場所に自転車が置かれると、歩行者の通行のさまたげになったり、次の利用者が自転車を借りにくくなったりします。また、GPS で自転車の位置情報を確認することで、ポートの駐輪台数を管理

することができ、特定のポートに自転車が集まるのを防ぐことができず、これらの点をまとめて書くといひでしょう。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について (4点)

次のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

説明が書かれていない場合は0点となります。

・シェアサイクルにGPSを使う理由が書かれているか

・内容に過不足がないか

・文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

・同内容の不必要な反復がないか

形式等について (2点)

内容に関する観点が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・指定された言葉「位置情報」「ポート」が使われているか

・誤字や脱字がないか

・文法的な誤りがないか

・語句や言葉の使い方に誤りがないか

・常体、敬体の混在がないか

・不適切な話し言葉の使用がないか

・消し残りなどで字が見づらくないか

問題7 B2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 調べる

【班の会話⑤】と【資料7】を総合して考えます。「9回大

往復した」と考える必要があります。また、利用時間によって、料金が変わることも考えなければなりません。

1回ずつの利用の場合

大学まで片道15分、 $9 \times 2 = 18$ (回) 利用することになるので、 $165 \times 18 = 2,970$ (円) かかります。また、練習場まで35分、 $3 \times 2 = 6$ (回) 利用することになります。このとき、1回あたりの利用時間が30分を超えてしまいます。そのため、1回あたりの利用料金は $165 \times 2 = 330$ (円) となります。 $330 \times 6 = 1,980$ (円) となるため、1か月で、 $2,970 + 1,980 = 4,950$ (円) かかるとわかります。

月額会員の場合

30分以内なら追加料金がないため、駅から大学までの利用は追加料金が発生しません。しかし、駅から練習場までは30分を超えるので、 $165 \times 6 = 990$ (円) の追加料金がかかります。つまり、1か月で、 $3,300 + 990 = 4,290$ (円) かかるとわかります。1日パスの場合

駅から大学と、駅から練習場まで、1か月で12日利用することになります。 $1,650 \times 12 = 19,800$ (円) かかるとわかります。

よって、1か月あたりの利用料金は月額会員が最も安く、その場合、1か月あたり4,290円かかるとわかります。

問題8 C1 情報を獲得する 理由 関係づけ

シェアサイクルの利用者を増やすためには、どのような取り組みを行うとよいかを考えます。この問題までに考えたこと、資料8をふまえて、シェアサイクルがかかえる課題、その課題を解決する具体的な方法を記述します。

資料8には、「シェアサイクルを利用しない理由」が書かれ

ているので、資料8に注目してシエアサイクルがかかえる課題をとらえるとよいでしょう。また、資料6で取り上げられた過剰駐輪^{じようるん}について書いてもよいでしょう。課題に対する具体的な方法について、相手に伝えることを意識して書くようにしましょう。

※100字未満の場合、採点対象としません。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について（6点）

次のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

説明が書かれていない場合は0点となります。

・シエアサイクルがかかえる課題と共に、その具体的な解決方法が書かれているか

・内容に過不足がないか

・文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

・同内容の不必要な反復がないか

形式等について（4点）

内容に関する観点が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは2点の減点となります。2つ目以降の誤りは1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・誤字や脱字がないか

・文法的な誤りがないか

・語句や言葉の使い方に誤りがないか

・常体、敬体の混在がないか

・不適切な話し言葉の使用がないか

- ・消し残りなどで字が見づらくないか
- ・一行目の一マス下げたところから書かれているか
- ・一マスに一文字が書かれているか
- ・正しいマス目の使い方かどうか

2 自分の意見を記述する問題**問題一** **B1** 情報を獲得する 比較 関係つけ

A 直前に書かれている「一人ひとりの気もちや考えを大切に
する」ことが世の中のルールであるという内容が、直後の
「ルールを守れずだれかを否定してしまった人は、きびしく
罰せられることもあります」の理由となっています。したがっ
て、「だからこそ」が入ります。

B 「一人ひとりの気もちや考えを大切にすること」が間違い
なく大きなことであると述べたうえで、そのことと後で述べ
る「人を否定しないこと」が同一のものではないということ
を強調しています。したがって、「たしかに」が入ります。

C 直前に、ある人の考え方がどうも好きになれない、納得い
かないということは珍しいことではないと述べられています。
筆者はそれよりも「どんな人でも、どんな考えでも、大
切にできる」という人のほうにウソくささを感じる、と述べ
ています。両者を比べている形ですから、「むしろ」が入り
ます。

以上のことから、ウが正解となります。

問題二 **B1** 情報を獲得する 関係つけ 置き換え

——線①の直後の部分で、「人それぞれ」と考えることは、「他
者との間に壁をつく」ることである、と説明されています。こ
の部分の空欄とのつながり、字数ともに条件を満たさないので、
同じ内容を別の場所から探します。7ページ下段に「人それ
ぞれ」と処理し、つながりの回路を閉ざしてしまうのではなく
とあり、この部分が条件を満たします。

問題三 **B1** 具体・抽象 関係つけ 置き換え

抜けている文をもとの場所に戻す問題です。「そのうえで」
に注目すると、この文が戻る場所の前に「自身の考え方を表明
する」ことよりも筆者が大切だと考えていることが書かれてい
るとわかります。したがって、【イ】が正解となります。

問題四 **B2** 比較 関係つけ 推論

ア 「きびしく罰せられることもあります」とは書かれていま
すが、ルールに従って罰せられることが決まっているわけ
ではありません。したがって、誤りです。

イ 7ページ上段の内容と合っています。

ウ 最終段落で「メリット・デメリット」や「人それぞれ」で
はない考え方が必要であると述べられていることから、誤り
です。

エ 7ページ下段には、「だれかの考え、あるいはだれかのあ
り方を好きになれないのは、ふつうのことなのです」と書か
れています。これは選択肢にある、自分の意見を変えてでも
相手の言動を受け入れようとする、という表現と合いません。
したがって、誤りです。

オ 7ページ下段の内容と合っています。

以上より、イ・オが正解となります。

問題五 **C2** 理由 置き換え 推論

文章をふまえ、自分と意見が異なる人との付き合い方につい
て、あなたの意見を述べる問題です。

第一段落では、「自分と意見が異なる人」の受け止め方や対
応の仕方について、筆者の考えをまとめます。7ページ下段の

「だれかの考え、あるいはだれかのあり方を好きになれないのは、ふつうのこと」や、「重要なのは、（関係を築くことです）あたりが参考になるでしょう。

第二段落では、「他者と意見が異なった場合に自分がどう対応したいか」について、あなたの考えをまとめます。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きます。第二段落で述べたことをふまえて、自分がなぜそのような対応をしたいと思っているかが伝わるように書きましょう。

※三百字未満の場合、採点対象としません。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について（30点）

誤り1か所につき、5点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

第一段落について

- ・「自分と意見が異なる人」の受け止め方や対応の仕方について本文で示された内容がまとめられているか
- ・内容が過不足なく書かれているか
- ・文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか
- ・同内容の不必要な反復がないか

第二段落について

- ・「他者と意見が異なった場合に自分がどう対応したいか」について書かれているか
- ・内容が過不足なく書かれているか
- ・文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか
- ・同内容の不必要な反復がないか

第三段落について

- ・第二段落到書いたことについての理由が書かれているか
- ・内容が過不足なく書かれているか
- ・文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか
- ・同内容の不必要な反復がないか

形式等について（10点）

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは5点の減点となります。2つ目以降の誤りは1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・誤字や脱字がないか
- ・文法的な誤りがないか
- ・語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・常体、敬体の混在がないか
- ・不適切な話し言葉の使用がないか
- ・消し残りなどで字が見えづらくないか
- ・原稿用紙の使い方に誤りがないか
- ・指定された段落数で書かれているか